



議会活動報告



一人会派だからできた! 「CV-22 オスプレイの横田基地への配備に対する意見書」

昨年 10 月から横田基地に CV-22 オスプレイが正式に配備されました。それを受け、政府に対して安全策の徹底や情報提供を求める意見書を全会一致で採択させました。他の議員の方からは「絶対無理だろう」と言われながらも、全会派に回って説得し、何とか全会一致にこぎ着けることができました。他会派に頭を下げて説得したり交渉したりする、こういったこと一人会派の自分しかできなかったことだと自負しています。着実に一人会派としてのやり甲斐を見出しつつあります。

一般質問... 3ヶ月毎の定例会で一人 60分与えられ、市に対して自由に考えを聞いたり、自分の意見を表明、政策の提案をできるという、いわば議員活動としては最大の見せ場です。

1. 性的マイノリティの人たちへ配慮の拡充を!

山本：立川市における性的マイノリティの人たちへの政策は、現状として啓発活動程度しか見受けられない。同性パートナーシップを含むより踏み込んだ政策を進めていただきたい。

立川市：同性パートナーシップは認定等のありかたも含めて検討課題があり、すぐには困難。性的マイノリティへの配慮は第7次男女平等参画推進計画策定の際に検討したい。

2. 生活困窮者支援に向けた体制構築を!

山本：今年6月に生活困窮者自立支援法が改正され、今後生活困窮者支援の業務が拡大する。今後の対応方針はどうか。また、業務拡大に伴う庁内体制の整備が必要ではないか。

立川市：今後はこれまでの支援に加え、家計改善支援事業も開始する予定である。また、庁内体制については第4次長期総合計画後期基本計画の策定等に併せて検討したい。

3. 親が高齢化している障害者の方たちへのサポートを!

山本：親が高齢化により、障害のある子どもの世話が困難になる事態が発生しており、サポート体制の構築が急務と考えている。高齢の親御さんと同居している障害者の方のサポートについての認識をうかがいたい。

立川市：親の入院や施設入所や死亡時にはケースワーカーが緊急保護やショートステイ利用、ヘルパー派遣で急場をしのぎ、その後グループホームの入居等の対応をしている。また、地域生活支援拠点の整備についても検討している。

山本洋輔 プロフィール

- 1990年 11月6日 東京武蔵村山市で生まれる
- 2006年 東京都立立川高等学校入学。
- 2010年 一橋大学 社会学部 社会学科入学
- 2014年 大学を卒業。コンサルティング会社に就職
- 2018年 立川市議会議員選挙に立候補 初当選
厚生産業委員会委員、都市計画審議会委員
NPO 法人さんきゅうハウス理事

【趣味】旅行、映画鑑賞、読書、歴史、映画鑑賞、登山
美術館・博物館めぐり、街歩き(基本的になんでも好き)
【最近の悩み】議員は全くモテないことが発覚



キャラに合っていないと評判の写真

編集後記

先日、ボヘミアン・ラプソディを観に行ったのですが、立川名物の極上音響での鑑賞は圧巻でした。また、時間や労を気にせず徹底的に自分の音楽にこだわるフレディの姿勢には心打たれるものがありました。自分もそんな彼を見習い、本市政レポートもこだわりにこだわり抜こうと、完成まで議会終了から一か月も経ってしまいました(笑)次はこんな言い訳せずにもっとスピーディーに作成したいと思います…がしかし次の議会は予算特別委員会もあり、今回以上に盛りだくさん…果たしてどうなるやら…